

【B年】

聖霊降臨後第十五主日

特定十七

慈しみ深い神よ、あなたはみ恵みを常にわたしたちに先立たせ、また伴わせてください。どうかこの恵みによって絶えずすべての良い業を行うことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書は申命記第四章一節から」

1 イスラエルよ。今、わたしが教える掟と法を忠実に行いなさい。そうすればあなたは命を得、あなたたちの先祖の神、主が与えられる土地に入って、それを得ることが

できるであろう。2 あなたたちはわたしが命じる言葉に何一つ加えることも、減らすこともしてはならない。わたしが命じるとおりにあなたたちの神、主の戒めを守りなさい。3 あなたたちは、主がバアル・ペオルでなされたことをその目で見たではないか。あなたの神、主はペオルのバアルに従った者をすべてあなたの間から滅ぼされたが、4 あなたたちの神、主につき従ったあなたたちは皆、今日も生きています。5 見よ、わたしがわたしの神、主から命じられたとおり、あなたたちに掟と法を教えたのは、あなたたちがこれから入って行って得る土地でそれを行うためである。6 あなたたちはそれを忠実に守りなさい。そうすれば、諸国の民にあなたたちの知恵と良識が示され、彼らがこれらすべての掟を聞くとき、「この大いなる国民は確かに知恵があり、賢明な民である」と言うであろう。7 一つ呼び求めても、近くにおられる我々の神、主のような神を持つ大いなる国民はどこにあるだろうか。8 またわたしが今日あなたたちに授けるこのすべての律法のように、正しい掟と法を持つ大いなる国民がどこにいるだろうか。9 ただひたすら注意してあなた自身に十分気をつけ、目で見ただけを忘れず、生涯心から離すことなく、子や孫たちにも語り伝えなさい。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

## 第十五編

- 1 主よ、どのような人があなたの幕屋に宿り＝ あなたの尊い山に住めるのですか
- 2 それは、とがなく歩み、正義を行い＝ 心からまこと  
を語る人
- 3 言葉で人を傷つけず、その友に悪を行わず＝ 隣人を  
辱めない
- 4 神を捨てた者を戒め、神を畏れる人を尊ぶ＝ 悪いこ  
とはしないと誓って、それを変えることはない
- 5 金を貸して利をむさぼらず＝ 賄賂を取って罪のない人  
を苦しめない
- 6 このように振舞う人は＝ とこしえに揺らぐことはない

## 使徒書

朗読者 「使徒書はエフェソの信徒への手紙 第六章十節か

「5」

- 10 最後に言う。主に依り頼み、その偉大な力によって強く  
なりなさい。
- 11 悪魔の策略に対抗して立つことができるよ

うに、神の武器を身に着けなさい。12 わたしたちの戦いは、  
血肉を相手にするものではなく、支配と権威、暗闇の世界の  
支配者、天にいる悪の諸霊を相手にするものなのです。13  
だから、邪悪な日によく抵抗し、すべてを成し遂げて、しつ  
かりと立つことができるように、神の武器を身に着けなさい。  
14 立って、真理を帯として腰に締め、正義を胸当てとして着  
け、15 平和の福音を告げる準備を履物としなさい。16 なお  
その上に、信仰を盾として取りなさい。それによって、悪い者  
の放つ火の矢をことごとく消すことができます。17 ま  
た、救いを兜としてかぶり、霊の剣、すなわち神の言葉を取  
りなさい。18 どのような時にも、「霊」に助けられて祈り、願  
い求め、すべての聖なる者たちのために、絶えず目を覚まし  
て根気よく祈り続けなさい。19 また、わたしが適切な言葉  
を用いて話し、福音の神秘を大胆に示すことができるように、  
わたしのためにも祈ってください。20 わたしはこの福音の  
使者として鎖につながれていますが、それでも、語るべき  
ことは大胆に話せるように、祈ってください。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。

「5」で聖歌を歌う。

## 福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖マルコによる福音書第七章一節以下に記された主

イエス・キリストの福音。主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

1 フアリサイ派の人々と数人の律法学者たちが、エルサレムから来て、イエスのもとに集まった。2 そして、イエスの弟子たちの中に汚れた手、つまり洗わない手で食事をする者がいるのを見た。3 ——フアリサイ派の人々をはじめユダヤ人は皆、昔の人の言い伝えを固く守って、念入りに手を洗ってからでないと食事をせず、4 また、市場から帰ったときには、身を清めてからでないと食事をしない。そのほか、杯、鉢、銅の器や寝台を洗うことなど、昔から受け継いで固く守っていることがたくさんある。——5 そこで、フアリサイ派の人々と律法学者たちが尋ねた。「なぜ、あなたの弟子たちは昔の人の言い伝えに従って歩まず、汚れた手で食事をするのですか。」

6 イエスは言われた。「イザヤは、あなたたちのような偽善者のことを見事に預言したものだ。彼はこう書いている。

『この民は口先ではわたしを敬うが、その心はわたしから遠く離れている。7 人間の戒めを教

えとしておしえ、

むなしくわたしをあがめている。』

8 あなたたちは神の掟を捨てて、人間の言い伝えを固く守っている。」

14 それから、イエスは再び群衆を呼び寄せて言われた。

「皆、わたしの言うことを聞いて悟りなさい。15 外から人の体に入るもので人を汚すことができるものは何もなく、人の中から出て来るものが、人を汚すのである。」

21 中から、つまり人間の心から、悪い思いが出て来るからである。みだらな行い、盗み、殺意、22 姦淫、貪欲、悪意、詐欺、好色、ねたみ、悪口、傲慢、無分別など、23 これらの悪はみな中から出て来て、人を汚すのである。」

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」